

大阪産業技術研究所

「3D造形技術イノベーションセンター」 オープン記念イベント!!

ORIST和泉センターでは、令和3年4月に「3D造形技術イノベーションセンター」を開設しました。当3Dセンターでは、金属3Dプリンタを計4台所有しており、造形物の高機能化につながるトポロジー最適化や、造形不良を回避できる熱変形シミュレーションといった、実際の造形前に設計・解析できるソフトウェアも取り揃えています。本イベントでは、金属3Dプリンタによるものづくりの現状と将来展望についてご講演いただくとともに、装置メーカーによる金属3Dプリンタの紹介、さらには3Dセンター内および関連施設の見学も企画しています。

[日 程]

2021年

8月25日 [水]

申込締切 8月4日 [水]

[時 間]

前半組 (受付開始12:15)

12時30分～16時00分

後半組 (受付開始13:30)

13時50分～17時15分

[場 所]

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
和泉センター

[定 員]

80名 (先着順)

[参加費]

無料

まだまだありまっせー大阪の粉もん！
パウダーから始まる夢のアイテムを体感!!



イベントページへの
アクセスはこちら→



プログラム

※新型コロナウイルス感染症対策のため、
見学については前・後半組に分けて行います

	前半組	後半組
12:30-12:45	見学機器の概要紹介	—
12:45-13:50	3Dセンター、関連装置の見学	—
13:50-14:00	休憩	集合・見学班分け
14:00-14:05	開会挨拶 大阪産業技術研究所 理事長 小林 哲彦	
14:05-14:10	来賓挨拶	
14:10-14:25	3D造形技術イノベーションセンター 概要紹介 大阪産業技術研究所 加工成形研究部 特殊加工研究室 室長 中本 貴之	
14:25-15:10	基調講演「金属 3Dプリンタを活用したものづくりの現状と将来展望」 近畿大学 次世代基盤技術研究所 特任教授 京極 秀樹 先生	
15:10-15:30	装置メーカー講演①「電子ビーム金属3DプリンタEZ300の紹介」 多田電機株式会社 技術顧問 宮田 淳二 氏	
15:30-15:50	装置メーカー講演②「DED 装置の特徴と活用事例の紹介」 三菱重工工作機械株式会社 取締役執行役員CTO 二井谷 春彦 氏	
15:50-16:00	大阪産業技術研究所 (ORIST) の利用方法 大阪産業技術研究所 経営企画本部 経営企画部 企画グループ長 松永 崇	
16:00-16:05	解散	休憩
16:05-17:15	—	3Dセンター、関連装置の見学

※新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたします。

アクセス

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 和泉センター

〒594-1157 和泉市あゆみ野2-7-1

・泉北高速鉄道「和泉中央駅」下車

・南海バス(5番のりば)に乗り換え10分、「大阪技術研前」下車



アクセスページはこちら

申し込み

メールまたはFAXでお申込みください。

Mail:fukyu@tri-osaka.jp Fax:0725-51-2520

▼ 3D造形技術イノベーションセンターオープン記念イベント FAX申込書

会社名					
所在地	(〒)				
連絡先	TEL		FAX		E-mail
参加者1	所属		役職		氏名
参加者2	所属		役職		氏名
見学会のグループ希望(いずれかに○)			前半組(12時30分集合) ・ 後半組(13時50分集合) ・ どちらでもよい		

※メールで申込まれる場合は、上記の各項目についてご記入の上、件名を「3Dセンター記念イベント参加」として上記メールアドレスにお送りください。 ※FAXでお申込みの場合は、切り取らず、このまま FAXしてください。 ※上記参加申込書にご記入いただいた情報は、本イベントの参加者集計、その他催事情報提供などの案内を行う目的にのみ使用します。 ※見学会のグループは、40名ずつの先着順で決定します。申込状況によっては、ご希望に添えない可能性があります。 ※申込多数の場合は、参加者数の調整を行います。



3D造形技術
イノベーションセンター

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 和泉センター
〒594-1157 和泉市あゆみ野2丁目7番1号
Tel.0725-51-2512(経営企画本部 顧客サービス部)

基調講演

金属 3Dプリンタを活用した ものづくりの現状と将来展望

近畿大学 次世代基盤技術研究所
特任教授 京極 秀樹 先生

金属3Dプリンタは、従来の加工法では難しい形状と新たな機能を付与できることに加えて、デジタル・マニュファクチャリング技術であることから、今後のものづくりにおいて極めて重要な役割を演じると期待されています。本講演では、金属3Dプリンタによる最近のものづくりの現状について、DfAM と呼ばれる設計、装置性能及び材料開発の視点から紹介するとともに、デジタルツイン開発といったデジタル化の視点から将来展望についてお話しします。

装置メーカー講演

電子ビーム金属3Dプリンタ EZ300の紹介

多田電機株式会社
技術顧問 宮田 淳二 氏

三菱電機 EZ300 は国産として初めて開発、販売開始された電子ビーム方式金属3Dプリンタです。本講演ではまず技術的な背景としてレーザ加工と比較することにより電子ビーム加工の原理・特徴について説明し、電子ビームを使用した AM(Additive Manufacturing)のプロセス・特徴について説明します。続いて EZ300 の概要とその造形事例の一例について紹介を行います。

DED 装置の特徴と 活用事例の紹介

三菱重工工作機械株式会社
取締役執行役員CTO 二井谷 春彦 氏

DED方式金属3Dプリンタは PBF方式と比較して、造形原理上大型部品の造形、異種材料の付加造形に適します。本講演ではDED方式金属3Dプリンタ LAMDAの特徴及びその活用事例を紹介するとともに、最新の技術開発状況についても紹介します。